

会議結果報告書

1 会議の名称

平成28年度光市文化財審議会

2 開催日時

平成29年3月22日（水）13:30～15:00

3 開催場所

光市教育委員会1階ホール

4 出席者

- ・光市文化財審議会委員 10人
- ・事務局 4人

5 公開・一部公開の別

公開

6 会議の議事録（要点）

- (1) 教育長あいさつ
- (2) 委員の任命並びに紹介
- (3) 会長・副会長の選任
- (4) 平成28年度事業実施報告

事務局からパワーポイントを用いて以下の事業について報告

ア 文化財保護事業

イ 文化財活用事業

《質疑》

○委員

- ・阿曾沼氏の宝篋印塔に看板がない。どうにかならないか。
- ・地域の歴史文化の継承、啓蒙についての考えを聞かせてほしい。

○事務局

- ・説明看板については認識している。検討したい。
- ・継承、啓蒙については、行政としても頭を悩ませているところであるが、今後、皆さんのお力をお借りしたい。

○委員

- ・「未来をひらく 光市の歴史文化」編纂の際の協力委員さんにもお手伝いいただいたらよいと思う。

(5) 議題

ア 今後の光市指定文化財等について

○事務局

- ・市内には指定、未指定を問わず、多くの歴史的資源がある。今後の保護や継承、活用等についてご助言いただきたい。
- ・また、今後、新たに指定するための研究材料として挙げるものがあればご教示いただきたい。

○委員

- ・地域の文化財を知らないことは不幸なこと。自治会の総会に出かけて行って、10分でも説明時間をもらうとか、あらゆる手段で周知することが必要。
- ・行政としても、財源や人材の問題など、大変であることは理解できるが、一步踏み出すことが必要。
- ・地域と行政が一体となったイベントの開催など、文化財を守ろうとする機運の醸成を図ることが大切。

○事務局

- ・何らかの形で地域に出ていくことを考えていきたい。

○委員

- ・学ぶから活動するというきっかけ、循環を創り上げることで、マンパワーは育てることができる。
- ・インターネットによる情報発信を積極的にしたらよい。

○委員

- ・県埋蔵文化センターでは、来年度、紙芝居、腹話術を取り入れたいと考えている。

イ 文化財等の現状把握について

○事務局

- ・来年度になるが、文化財の現状をご覧いただき、今後の保存や活用について、意見や指導をいただきたいと考えている。

○委員

- ・自分が職員であったとき、未指定文化財の調査を行い、指定してはどうかと思われる物件が掲載されている。把握しているか。

○事務局

- ・ファイルがあることは把握している。活用できると考えている。

○委員

- ・ピンポイントではなく、共通するものをまとめて新たな名称でも付けて紹介できれば素晴らしいと思う。
- ・例えば、同じ「道祖神」であっても差異がある。そうしたことも含めて、「道祖神群」といった紹介の仕方もいいのではないかと思う。

○委員

- ・「未来をひらく 光市の歴史文化」編纂の際に、これはというものはなかったか。まとめきれなかったものの中にも、情報はあるのではないか。
- ・また、歴史講座などで出てきた意見などもピックアップする、調べて地域にフィードバックするというような循環も重要なのではないか。

○委員

- ・言われるとおり。これは捨てがたいというようなものもあったが、その時は、とにかくひとつの形に仕上げることに必死であった。
- ・今後、書きためておいて、新たな編纂の機会があれば、活用できれば。

○委員

- ・現状把握するにあたっては、いろいろな切り口で考えていけたらいいと思う。

○委員

- ・未指定であっても、名木 100 選に認定され、いずれは文化財に指定されるようなものが、いとも簡単に伐採されるという事案があった。とても残念である。
- ・また、保存すべき資源を、もっと真剣に見直しすべきである。

○事務局

- ・新規の認定については、ここのところない状況ではあるが、文化財の普及啓発、保護に努めなければならないことを改めて認識した。
- ・認定すべきものもあるのではないかとということも含めて、皆様と資源の現状を把握してまいりたいと考えているので、よろしく願いたい。

○委員

- ・専門が建造物という立場から、自分が持っている資料の中ではあるが、建物関係のリストを作成し、次回までにお示しできたらと思う。

(6) その他

事務局より、マイナンバー関連書類提供に対するお礼

7 問合せ先

光市教育委員会 文化・社会教育課 (0833-74-3607)